

降臨 シーリーズ: 神は僕たちにとって: 喜び  
アレックス・レスラー  
2023年・12月・17日

始まり: 神は僕たちにとって

2000年もの間、教会は時間をかけてクリスマスの日に向けて心を整えてきました。その時期は「待降節」と呼ばれています。今日から待降節第3週が始まります。

「アドベント」とは「到来」、具体的にはイエスの到来を意味します。クリスマスイブまでの毎週、私たちはアドベントの物語が持つさまざまな意味を考察します。

イエスの到来は何を意味するのでしょうか？

第1週 – 希望。神は約束を果たしてくださるでしょう。

第2週 – 平和。神はそばにいらっしゃいます。

今週はジョイです。神は私たちのためにあります。

したがって、ここに命題があります。イエスの世界への到来は、神が私たちの味方であることを意味します。これがグッドニュースである理由です。神はあなたに対して怒っていません。天から叱られています。あなたの間違いや失敗に目を丸くします。彼は無関心でも、無関心でも、よそよそしいわけでもありません。彼は意地悪でも、執念深いでも、非難する人でもありません。神は罪に反対しており、罪はあなたの人生と私たちの世界に腐食と破壊をもたらす力です。しかし、彼はあなたに反対しているわけではありません。

いいえ、彼はあなたを激しく、容赦なく、そして深く愛しています。良き父親は子供たちを愛するように、あなたが誰であるかをすべて見て、それでもあなたを選びます。そして彼はそれだけを行っているわけではありません。

行動は言葉よりも雄弁です。

マタイの福音書では、天使がヨセフとマリアにイエスの降臨を告げるために到着するとき、天使はイザヤ書にある古代の預言書の次の言葉を引用します、

”見よ、おとめがみごもって男の子を産むであろう。その名はインマヌエルと呼ばれるであろう”。これは、「神われらと共にいます」という意味である。”

マタイによる福音書 1:23 口語訳

つまり、神様が現れたということです。古代の予言が現実になります。

これを表す非常に派手な神学用語があります。それは「受肉」と呼ばれています。神は人間の体を帯びることで、人間の物語に足を踏み入れました。彼は人間としての制約や制限に自らを従属させながらも、神性を少しも失うことはありません。

宇宙の神は私たちへの愛を証明する必要はありませんでした。しかし、彼は自分自身に多大な犠牲を払って、そしてそれを実行しました。そして自分自身のためではありません。彼はこの取引から何

を得るのでしょうか？いいえ、それは完全に神の善意による私たちの利益のためです。このように、待降節の物語は私たちに神の性質を示しています。

「現れて」くださる神だけが、あなたを罪から救い出し、傷から救い出し、あなたをご自分と和解させることができるのです。彼が唯一の方法だ。

そして、それはすべての人々に大きな喜びをもたらす良い知らせです！

遷移:

今日はこれについてさらに詳しく見ていきます。

クリスマスの物語の重要な部分を調べてみましょう。

1. 神は私たちのためにあり、
2. あなたの人生における神の働きの結果は喜びです。そして他にはない喜び。

聖書のルカ 2 章。

動き 1:僕たちの物語に| ルカによる福音書 2:1-7

”そのころ、全世界の人口調査をせよとの勅令が、皇帝アウグストから出た。これは、クレニオがシリヤの総督であった時に行われた最初の人口調査であった。人々はみな登録をするために、それぞれ自分の町へ帰って行った。ヨセフもダビデの家系であり、またその血統であったので、ガリラヤの町ナザレを出て、ユダヤのベツレヘムというダビデの町へ上って行った。それは、すでに身重になっていたいいなづけの妻マリヤと共に、登録をするためであった。ところが、彼らがベツレヘムに滞在している間に、マリヤは月が満ちて、初子を産み、布にくるんで、飼葉おけの中に寝かせた。客間には彼らのいる余地がなかったからである。”

ルカによる福音書 2:1-7 口語訳

この福音書の著者ルカは、この物語の歴史的背景について意図的に詳細を盛り込んでいます。

なぜ？

そうですね、彼は自分の主張が検証されることを恐れていないからです。彼は、これがすべて実際に起こったことをあなたに知ってもらいたいと考えています。奇妙に聞こえるかもしれませんが、私たちの非常によく知られた物語に天国が侵入しています。

これらの詳細を含めることは、今日私たちが「これはすべてバイデン大統領が在任中に起こり、ティナ・コテックがオレゴン州知事だった」と言っているのと同じことだろう。

時間と空間を表します。

「シーザー」と聞いて何を思い浮かべますか？

本物のシーザーは、彼の遺産がペパロニピザと典型的なドレッシングをかけたサラダの強力な組み合わせであると言ったら、おそらくあなたを十字架につけていたでしょう。

カエサル・アウグストゥス - 最初の、そして(多くの人によると)最も重要なローマ皇帝(紀元前 31 年 - 紀元 14 年)。共和国を帝國的な政府形態に置き換えた彼は、地中海世界全体を含むように帝国を拡大し、有名なパックス・ロマーナを設立し、ローマの文学と建築の黄金時代の到来をもたらしました。アウグストゥス(高貴な者を意味する)は、紀元前 27 年にローマ元老院によって彼に与えられた称号です。

ジョージ・ルーカスがスター・ウォーズの帝国のインスピレーションをどこから得たのか知りたいなら、オーガスタスの物語を読んでください。

ローマには全世界の王座に座る者がいる。彼は「高められた者」であると宣言されており、政治的権威だけでなく宗教的権威も与えられています。

彼は自分自身を「インペラートル・シーザー・ディヴィ・フィリウス」、つまり「司令官シーザー、神格化された者の息子」と呼んだ。

彼は帝国崇拝を始めたため、シーザー(彼自身)への崇拝が国教になりました。宗教ナショナリズムは新しいものではありません。

ルークは本当に素晴らしいです。これらはすべてシーザーに関する既知の情報だったでしょう。帝国の宣伝機関は健在だった。

今日、シーザーはサラダか 5 ドルのペパロニピザとして知られていますが、

彼の名声が世界中に広まった日がありました。彼は次のように知られていました...

「永遠のローマ帝国の王にして神の子(神格化されたもの)」

ルークは多くを語らずにすべてを語ります。

宇宙の真の王であり天の相続人、神の真の御子であるイエスが私たちの物語に登場します。

オーガスタスはチャンスの中で生まれました。彼はローマ権力と深いつながりのある家族の出身でした。彼はジュリアス・シーザーの養子甥であり、彼の財産とシーザーの政治的権力の相続人でした。彼が現場に到着したときは、陰謀、内戦、権力の強化、政敵の排除といった混乱の中であった。ぜひ権力を手に入れて維持してください。彼は宮殿や政治フォーラムに精通しているだろう。

そしてイエスがいます。

ルカは、アウグストゥスの法令により、マリアとヨセフは国勢調査のために祖先の故郷に戻らなければならないと指摘しています。なぜ？カエサルがそう言ったからです。「家に帰って、もっと税金を払えるように登録してください。」

これはローマの力と権力の誇示です。彼らは話します、そして誰もが聞きます。

しかし、そうすることで、マリアとヨセフはかつての王たちの地であるベツレヘムの町に行きます。ベツレヘムは元イスラエル王ダビデの故郷です。

このような信じられないような物語の舞台となったのは何ということでしょう。

根本的に異なる方法で世界に現れた2人の王。

華やかさと環境の中に生まれた人。彼を宮殿、権力、政治の舞台に押し上げた王室の家系から。もう一人は馬小屋で生まれました。ベッド用のトラフ。もう一人の王の帝国の片隅にいる、何者でもない貧しい少数派の二人に。

天から王がこの世にやって来る物語を作りたいなら、どれを選びますか？

これが、私がこの話が真実であると信じたい理由の1つです。もしあなたがでっち上げたとしても誰も信じないでしょう。このようなスクリプトを作成することは決してありません。それでも、アウグストゥスとキリニウスの時代の歴史にしっかりと根付いたこの物語は、ローマの僻地で世界を永遠に変えることとなります。

真の天の王が私たちの物語に登場したという主張です。

彼は最も共感できる方法でやって来ます。彼は私たちの一員としてやって来ます。私たちが共感できる人。

これは、クリスマスの物語の中で最も驚くべき現実の1つです。

物語の中で彼が現れるあらゆる方法の中で、彼は最も謙虚な方法を選択します。

「インマヌエル」、つまり神は私たちとともにおられるという意味です。私たち全員。そして、神は私たちのためにおられるので、私たちとともにおられます。

遷移: 今年のクリスマス、私たちはこの真実を熟考します。神は、時には最も予期せぬ形で現れる神です。私たちはこの真実を熟考します。神は認識しにくい予期せぬ方法で到着するかもしれませんが、それは私たちが最も必要としている方法でもあるということです。

そのとき彼はそれをやった。彼は今それをやっている。

アドベントは驚きに満ちています。

動き 2: 驚く羊飼いたち | ルカによる福音書 2:8-15

ルカ 2 章 8 節からに戻ります

”さて、この地方で羊飼いたちが夜、野宿しながら羊の群れの番をしていた。すると主の御使が現れ、主の栄光が彼らをめぐり照したので、彼らは非常に恐れた。御使は言った、「恐れるな。見よ、すべ

ての民に与えられる大きな喜びを、あなたがたに伝える。きょうダビデの町に、あなたがたのために救主がお生れになった。このかたこそ主なるキリストである。あなたがたは、幼な子が布にくるまって飼葉おけの中に寝かしてあるのを見るであろう。それが、あなたがたに与えられるしるしである」。するとたちまち、おびただしい天の軍勢が現れ、御使と一緒にあって神をさんびして言った、「いと高きところでは、神に栄光があるように、地の上では、み心にかなう人々に平和があるように」。御使たちが彼らを離れて天に帰ったとき、羊飼たちは「さあ、ベツレヘムへ行って、主がお知らせ下さったその出来事を見てこようではないか」と、互に語り合った。”

ルカによる福音書 2:8-15 口語訳

1世紀において、羊飼いという職業ほどありふれた平凡なものはありません。これは驚くべきことであり、もう一度言いますが、もしあなたが物語をでっちあげているとしたら、これは決して含める可能性が最も低いグループでしょう。彼らの証言は、周囲の世界にとってほとんど価値がありません。もちろん、それが実際に真実でない限り、この話をこの福音書の記述に含めることはルカにとって何のメリットもありません。

驚き。

多くの霊的存在が到着し、人類史上最も重要な出来事が起ころうとしていると宣言します。これはベツレヘムの畑で働く一部のブルーカラー労働者へのメッセージです。

神は普通の人々の前に特別な方法で現れます。

帝国の首都ローマではない

エルサレムはユダヤ教の崇拜の中心地ではありません。

ご覧のとおり、これらのスペースにいる人々が取り残されることはありません。(良いニュース/すべての人に大きな喜びを)

しかし、彼はあなたや私のような普通の人々にもやって来ます。

驚き。

これらの羊飼いたちがどのように感じたに違いないか想像できますか?世界中のすべての人々の中で、宇宙の神が彼らを見ているような?

これは私たちにも当てはまります。神は宇宙を運営するのに忙しくて、あなたの最も深い必要に応えることができないわけではありません。たとえ自分が注目されたり、評価されたり、見られるほど重要ではないと思っていたとしても、待降節の物語は驚くべきものです。彼もあなたのためにいるのです。実際、彼は羊飼いたちに独自の計画と目的を持っており、彼らの物語は人類の歴史の中で不滅のものとなるでしょう。

野生な!

しかし、羊飼いにとってその姿は驚くべきものですが、そのメッセージはさらに驚くべきものです:

”御使は言った、「恐れるな。見よ、すべての民に与えられる大きな喜びを、あなたがたに伝える。”

ルカによる福音書 2:10 口語訳

これについて少し考えてほしい。イエスの到来に関する天の最初の公の声明は、良い知らせがすべての人々に大きな喜びをもたらすだろうというものです。

良い知らせの部分に焦点を当てましょう。

私は最近、友人と南北戦争フットボールの試合に行きました。私たちが入っていくと、どの入り口にも高さ12フィートの看板と拡声器を持った男たちがいて、試合に参加するすべての人に向かって「悔い改めなければ全員地獄に落ちるぞ」と叫んでいた。標識には、よく見られる典型的な罪がたくさんありました。誰もが彼らを見下ろして無視しようとしていた。広い寝台。彼らを嘲笑する人もいた。ほとんどはそれらを見下ろしています。

罪が私たちに神から引き離すということには、私も完全に同意します。今も、これからの時代も。イエスの降臨は、あなたを罪と死から救うことです。福音は、人々が罪と傷を持ち続けている間、人々に対する誤った礼儀正しさの受動的形態ではありません。救世主はあなたを救うために生まれました。

しかし、鳴り響く拡声器の前を通り過ぎると、「すべての人々に大きな喜びをもたらす良い知らせをお届けします」という静かなささやきが聞こえ続けました。

そして私は疑問に思いました...彼らが代わりにそれを自分のボードに載せたらどうなるでしょうか？ルカ 2 章 10 節で、彼らが天の書から 1 ページ取り出して次のように宣言したとしたらどうでしょうか。ダビデの町で救い主があなたに生まれました。彼はメシア、主なのです。」

羊飼いたちに何が起こったか知っていますか？彼らは好奇心を持ちました。「これを調べてみましょう！」

天国の方法論を取り戻すべきでしょうか？

遷移:

CS ルイスは、無神論からイエスへの信仰への旅を描いた自伝を書いたとき、そのタイトルを「喜びに驚いた」としました。

なぜ？それは彼の天国の喜びの経験だったからです。神からの喜び、そして神だけが彼の心を変えました。それは合理的な議論でも、知的な考えでも、罪悪感や恥の意識でもありませんでした。アウグスティヌスが『告白』で言ったように、それは喜びでした。

「神よ、私たちの心はあなたの内に安らぎを見つけるまで落ち着かないのです。」- セント オーガスティン

羊飼いと同じように、アドベントの物語は、すべての人間の心の最も深い願いを利用して、身を乗り出して「さあ、これが一体何なのか調べてみましょう!？」と言うのです。

あなたの心の中に、彼らの心の中に、深く、隠され、切望している何かが、あなたの人生にイエスが到来することで安らぎを見出します。

ルイスが語る驚きのジョイ。あなたを手招きして、飼葉桶のところに来て、このすべてが何を意味するのか調べてください。それは良い知らせであり、あなたは切望していた大きな喜びを経験するでしょう。

動き 3: 喜びに驚いた

CS・ルイス - 喜びに驚いた

ルイスは「天からの喜び」について驚くべき定義を与えています。

「私はそれを喜びと呼んでいます...夏の日に私が花の咲くカサネの茂みのそばに立っていると、何年もではなく何世紀にもわたって深みから来たかのように、突然、古い家でのあの朝の記憶が何の前触れもなく私の中に湧き起こりました。私の兄は自分のおもちゃの庭を子供部屋に持ち込んでいました。私を襲った感覚を表現するのに十分強い言葉を見つけるのは難しいです。ミルトンのエデンの「巨大な至福」(「巨大」に完全な古代の意味を与える)は、それに近いどこかに来ています。もちろん、それは欲望からくる感覚でした。しかし、何のための欲望?...私が何を望んでいるのかを知る前に、欲望自体は消え去り、全体の垣間見えた...引っ込められ、世界は再び平凡になりました、あるいは、ちょうど終わった憧れへの憧れによってのみかき立てられました...私の人生の中心となる物語は、それ以外の何ものでもないという感覚です... 3つの経験に共通する性質は... それ自体が他のどの満足よりも望ましい、満たされない欲求です。私はそれを「喜び」と呼びますが、これはここでは専門用語であり、幸福と楽しみの両方とは明確に区別されなければなりません。喜びには(私の感覚では)実に1つだけ、そしてそれらに共通する特徴があります。それを経験した人は誰でも、もう一度それを欲しがるといふ事実...それを味わった人が、もし両方が彼の力にあったとしても、それを世界のすべての喜びと交換することができるかどうかは疑問です。しかし、喜びは私たちの力の中に決してなく、喜びはしばしば私たちの力の中にあります。— C.S. ルイス、喜びに驚く

“喜びは僕たちの力の中に決してありませんが、喜びはしばしば力の中にあります。”

彼は、私たちが作り出したり経験したりできる幸福と、完全に私たちの力の及ばない源による喜びを区別しています。

聖書ではこれを喜びと呼んでいます。そして、その源は神のみにあるため、それは独特で永続的な特徴を持っています。

聖書の喜び

聖書の「喜び」を定義するのは、言葉では不十分に感じられるため困難です。彼らは不足していません。それは祝福、幸福、喜び、興奮、充実感の組み合わせのようなものです。しかし、その源は神であるため、ここでの私たちの経験とは多少異質でもあります。

これらすべての経験を生み出すものはいくつかあります。それ自体は悪いことではない経験。しかし、彼らはもっと信じられないような経験を指摘することしかできません。彼ら自身が喜びのすべてを体現することはできません。

1. 喜びは「御霊の実」です。：ガラテヤ人への手紙でパウロは、喜びは御霊の実であると言っています。これは、喜びの源は神であることを意味します。それはあなたが神との関係を持っているときに人生で経験することです。神とともに歩み、語り、神との交わりの中での生活を楽しむとき、喜びが生じます。

「父と子との交わりは最も鮮やかで甘美であり、十字架が最も重いとき、キリスト教徒の喜びは最大となる。」1-J. I. パッカー

2. 喜びは状況に依存しない: 底なしの喜びと大きな苦しみと痛みを同時に経験することが可能です。

6「このようなことすべてにおいて、あなた方は大いに喜んでいますが、とはいえ、今はしばらくの間、あらゆる種類の試練で悲しみを経験しなければならなかったかもしれません。」-ペテロ第一 1:6

これは本当に重要です。この人生において、私たちは痛みや苦しみを経験します。これはすべての人が経験することです。それは避けられないことです。しかし良いニュースは、痛みの中でも喜びを経験できるということです。あなたの状況によって奪われることのない持続的な喜びがあります。それは神から、そして神だけから来るものであるため、誰にも、何にも、あなたから奪うことはできません。あなたには人生を通して流れることができる力があります。

使徒パウロの手紙「ピリピ人への手紙」の主なテーマの一つは喜びです。それは手紙のいたるところにあります。そして彼がそれをどこで書いたか知っていますか？ 刑務所。彼は、この地球上のどんな力も彼から奪うことのできない喜びにアクセスすることができました。そして、信仰にしっかりと立っている他の人たちの話を聞くと、たとえ身体の自由が犠牲になったとしても、彼は大きな喜びを経験しました。

神が私たちに与えてくださる喜びは超越的なものです。

3. 喜びには季節は関係ありません。「一年で一番幸せな時期です。」いくつかのための。他の人にとっては、それは耐え難い時です。喜びの源を神に見出し、自分の状況に依存しないのであれば、このホリデーシーズンにも喜びを得ることができます。喜びはただ一人、イエスの中にのみ見出されます。そして喜びは、イエスとの関係を除けば、あなたの状況の中には見つかりません。それはある時だけではなく、他の時もそうではありません。

詩篇 1 篇は、罪の道を歩んだり、立ったり、座ったりしない人たちは「祝福されている」、あるいは「神から幸福/喜びに満ちている」と述べています。しかし、主の言葉を喜びなさい。昼も夜も神の慈しみについて瞑想します。その結果、あなたは絶えず生命の源が植えられた木のようなものになるでしょう。季節には果物を実らせますが、それ以外の季節には喪失感、痛み、再び春と夏への期待に耐えるだけで、あなたは維持されます。

遷移: これらすべてがあなたのものになります...

返事:

1. イエスのところに来てもいいです - 救い主が生まれました
2. あなたはこの喜びを得ることができます。(喜びを感じていない場合は、祈りを受けてください。今週私は祈りました！)
3. あなたも大いなる喜びの良い知らせの先駆者になれる: 良いニュースを書く大いなる喜びカード - 玄関で渡され、スタンプとインフォメーション センターの郵便ポストで受け取ります。
4. イエスに会いに来るように人々を招待できます - C-Eve 9、11、1、5に招待してください

祝祷 + 終

祝祷:

”どうか、望みの神が、信仰から来るあらゆる喜びと平安とを、あなたがたに満たし、聖霊の力によって、あなたがたを、望みにあふれさせて下さるように。”

ローマ人への手紙 15:13 口語訳